

PLATEAUを活用した WARXSS®のご紹介

株式会社RYODEN
株式会社ヴィッツ



1. 会社紹介
2. 解決したい課題
3. WARXSS®とは
4. 活用イメージ
5. 国交DPFデータとの連携メリット
6. 今後の取組み



1. 会社紹介 | RYODEN 概要



商号	株式会社RYODEN（読み：リョーデン）（RyodenCorporation）
創立	1947年4月22日（昭和22年）
資本金	103億3,429万8,875円（2025年3月31日現在）
本社	東京都豊島区東池袋 3 - 1 5 - 1 5
代表者	代表取締役社長 富澤 克行
売上高	2,157億円（連結）
従業員数	連結1,451名（2025年3月31日現在）
拠点	国内27拠点 海外21拠点
上場	東京証券取引所プライム市場



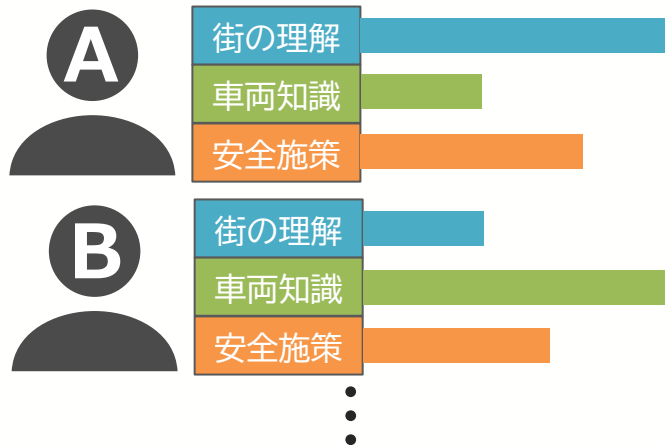
2. 解決したい課題

自動運転サービスカー導入時の 合意形成

(1)主な導入プロセス



(2)多様な関係者



- テキストでのレポート
- 現在の実環境の写真
- 平面地図を用いた図示

- × 専門性が高い項目が伝わりづらい
- × 地域特有の問題へ漏れなく対応できているのか確認しづらい
- × 太陽や気象条件を考慮した対策について想像が難しい

3. WARXSS®とは



3. WARXSS®とは | 仮想環境のシミュレータの分類

開発を効率化するシミュレータ

- 車両と走行環境を忠実に再現
- データ取得のためセンサ性能の再現など、作り込みが必要
- 機能が豊富で使いこなすために専門知識が必要



高額でエンジニア向けツール



イメージを共有するシミュレータ

- 用途に必要な十分な簡易な再現
- 車両や人の動き（シナリオ）を設定し自在な表現が可能
- 機能がシンプルでユーザーを問わず使用可能



安価で説明向けツール



4. 活用イメージ

(1) 走行における仕様検討



計画立案や安全設計の段階において、車両ベンダーのみではなく自治体なども交えて議論する際に、WARXSSを活用することで共通認識を持つことが可能。

(2) 住民説明会



WARXSSを活用して住民の方へわかりやすく説明することで、安心感を持って積極的に乗車してもらうことや、安全のために改めて交通ルールを守ってもらうことなどと呼びかける

(3) 乗務員教育



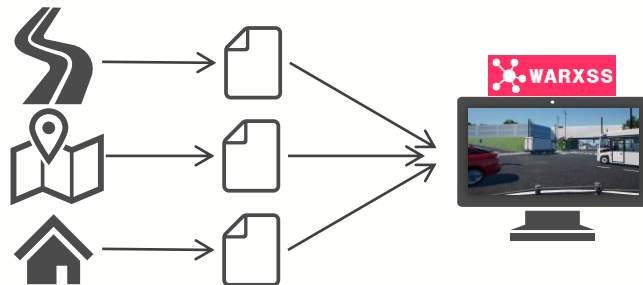
手動運転と自動運転の切り替えなど乗務員として新しく習得が必要なノウハウを、WARXSSで実際のルートを設定しながら予習/復習ができる

5. 国交DPFデータと連携によるメリット

3D都市モデル(PLATEAU)連携により導入コストを削減

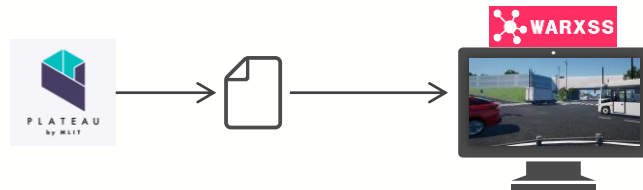
Before

- 3Dモデル作成のために必要な地図データを収集
- 各データに対してWARXSSに取り込むための変換を行うため、作業工数が大きくなる
- 有償のデータを取り扱うことがほとんど



After

- PLATEAUに必要な要素が含まれている
- PLATEAUをWARXSSに取り込むための作業のみ
- オープンデータのためユーザー提供価格も下げることができる



自動運転サービスカーの拡大を見据え、より早く提供できる形へ

(1)既存データやツールの活用

- ①PLATEAU開発支援キットの活用
- ②その他のオープンデータの活用

(2)さらに活用したいデータの要望

- ①さらなるPLATEAUのエリア拡張
- ②道路標示/標識の情報



- 開発工数をさらに削減し、より早く・より低価格で提供
- 現地の交通量を考慮しながら自動運転サービスカーの導入検討が可能
- 自動運転サービスカーの導入が拡大するなかで、より多くの方に低コストでWARXSSを提供可能